

「医療圏の広域化」と「秋田県の医療」に関する意識調査 回答票

現在、県では、今後の秋田県の医療を充実させていくために、「秋田県医療保健福祉計画」の見直しを行っているなかで、一般の入院にかかる医療を提供するための地域的単位である二次医療圏を、現行の8つから、広域化することを検討しています。

現在よりも広い枠組の中で病院同士の役割分担と連携を話し合っていくことにより、医療資源の有効活用を図り、人口が減少しても、引き続き県民の皆様が安定的に医療サービスを利用していける体制をつくりあげていきたいと考えているからです。

そのため、皆様の医療圏の広域化についてのお考えや、秋田県の医療についてお考えを伺い、今後の取組の参考としたいので、調査にご協力くださるようお願いいたします。

(1) 最初に回答者様について教えてください。

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
お住まいの地域	()市・町・村、県外							

(2) 次に医療圏の広域化についてお伺いします。

Q1 二次医療圏の広域化について、どのようなイメージをお持ちですか。(複数回答可能)

- 人口減少下において必要なものだと思う
- 広域化により効率的な医療提供が期待される
- 病院等が少なくなる
- 病院等が遠くなる
- 病院等の再編や統廃合が進む
- 広域化して何がかわるのが分からない
- その他

--

Q2 広域化すると、どのような効果が期待できると思いますか。(複数回答可能)

- 診療を受けるときの病院等の選択肢が広がる
- 人口が減少しても、病院同士の役割分担が進めば、身近な医療が守られていく
- 医師を確保する効果が期待できる
- 特に効果はないと思う
- その他

--

Q3 広域化する場合、どのようなことが必要だと思いますか。

(必要だと思うものを2つ選択してください)

- デジタル技術を活用して遠く離れた場所でも診察を受ける体制が整っている
- 病院等の間で検査結果や治療内容などの患者の情報がしっかりと共有されている
- 病院等までの公共交通機関や道路網が整備されている
- 病院などの役割分担や、連携がしっかりと行われている
- 往診や訪問診療などの在宅医療が充実している
- その他

--

(3)次に医療についてのお考えを伺います。

Q1 医療機関を選ぶ際に、何を重視していますか。

(特に重視してるものを2つ選択してください)

- 信頼できる医師がいる・評判の良い医師がいること
- 高度な医療設備を備えていること
- 自宅や職場から近いこと
- 診療科が多いこと
- 夜間や休日も対応していること
- 交通の便が良いこと
- 特になし
- その他

Q2 秋田県において、特に充実してほしいことは何ですか。

(特に充実してほしいことを2つ選択してください)

- 24時間対応の救急医療
- 発熱や腹痛など一般的な症状に対応する休日や夜間の診療
- 安全かつ安心して出産することのできる周産期医療体制
- 認知症や呼吸器疾患、脳血管疾患など高齢者に多い疾患に対応した医療
- 新型コロナウイルス感染症などの新興感染症対応
- 長期治療に対応した療養型医療
- がんなどの進行に伴う体や心の痛みを和らげる緩和ケアや終末期医療
- さまざまな症状に対応し必要に応じて専門医につなぐ総合診療(総合診療医の診療)
- 訪問診療や往診、訪問看護などの在宅医療
- その他

Q3 人口減少が進む中、秋田県の医療を充実させていくためにどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(特に必要だと思うものを2つ選択してください)

- 病院間の役割分担や連携を更に充実
- 医師や看護師など医療従事者の確保
- デジタル技術を活用した病院等から離れた場所でも受診できる体制の整備
- 介護サービスとの連携の強化
- 公共交通網の整備など、病院等までの交通手段の確保
- 医療機関における検査結果や治療内容などの患者情報の共有
- このままで良い
- その他

Q4 将来に向けた本県の医療サービスの体制について感じていることをご記載ください。
(自由記載)